

豊田合成株式会社 (証券コード：7282)

個人投資家様向け説明資料

2024年11月6日
豊田合成株式会社

1. 会社概要
2. インVESTメント・ハイライト
3. 成長を支える基盤
4. 株主還元
5. スポーツ、Re-S
6. まとめ

1. 会社概要

※ 2024年3月末現在

社名	豊田合成株式会社
業種	輸送用機器
上場	東証プライム（証券コード：7282）
創立	1949年6月15日
資本金	281億円※
代表者	取締役社長・CEO 齋藤 克巳
従業員数	連結会社計：38,951人※
本社	〒452-8564愛知県清須市春日長畑1番地
事業内容	合成樹脂・ゴムを中心とする自動車部品 などの製造・販売



取締役社長・CEO 齋藤 克巳



愛知県清須市本社

豊田合成ってどんな会社？



TOYODA GOSEI

豊田合成

ゴム・樹脂に強み

デンソー

アイシン

豊田自動織機

トヨタグループ
17社

トヨタ紡織

愛知製鋼

ジェイテクト

トヨタ車体

社名の由来



TOYODAの
歴史と技術の継承

+



複数のもの・高分子材料から
新しいものを生み出す

創業

※2024.10.1現在



75年

売上収益 連結

※IFRS
※23年度実績



1兆711億円

生産拠点数 グローバル

※2024.6.26現在



60社

従業員数 グローバル

※2024.3.31現在



38,951名

顧客別売上比率

※23年度実績



32%
日系・外資系

68%
トヨタ

スポーツ支援

※2024.10.1現在

WOLFDOGS
NAGOYA

Blue Falcon
TOYODA GOSEI
NAGOYA



2チーム

豊田合成って何を作っている会社？



TOYODA GOSEI

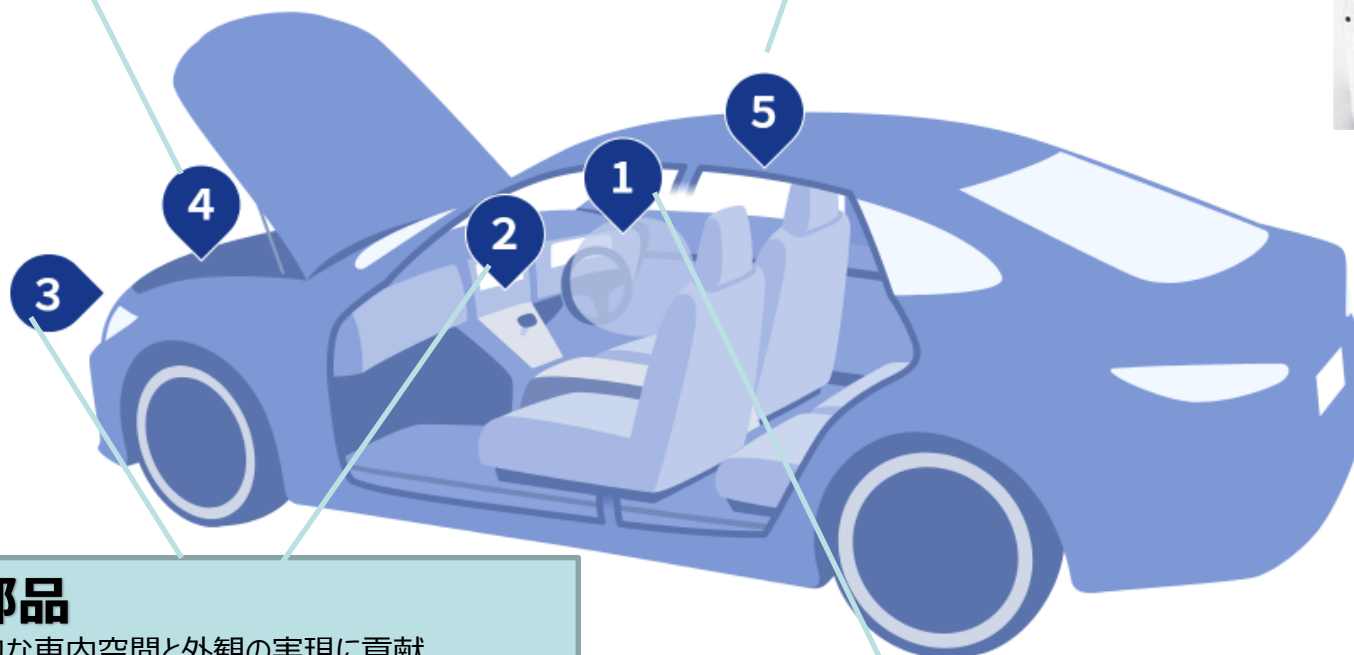
機能部品

- ・重要保安部品としてクルマの基本性能をサポート
- ・燃料タンク周辺部品 ・バッテリー周辺部品
- ・エンジン周辺部品 ・シャシー・ドライブトレイン系部品



ウェザーストリップ製品

- ・ドアや窓枠に装着して隙間をふさぐ
- ・雨・風・騒音を遮断、快適な車内空間に不可欠な部品
- ・ドアの開閉や窓ガラスの昇降をスムーズに



内外装部品

- ・快適で魅力的な車内空間と外観の実現に貢献
- ・室内を快適にする内装部品（インストルメントパネルなど）
- ・車のデザインに関わる外装部品（ラジエータグリルなど）



エアバッグ
グローバル
シェア18%

セーフティシステム製品

- ・さまざまな角度の衝突から乗員を保護するエアバッグ
- ・360度フルカバーを実現し交通事故死傷者の削減に貢献



社是：限らない創造 社会への奉仕

高分子の可能性を追求し、より良い移動と暮らしを未来につなぐ会社

社会への
価値提供

新モビリティの普及
への貢献

脱炭素社会化への貢献

安心・安全

快適

脱炭素

＜事業＞

・事業成長

- ・SS・IE/材料
- ・米州、インド、中国

+

- ・ポートフォリオ転換
- ・構造改革（低収益事業・製品）

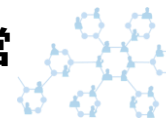
＜経営マネジメント革新＞

・考える経営

・多軸グローバル経営

・任せる経営

×



〔“KOBUNSHI”（高分子型組織）
地域自立化、CoE〕

・ 知財戦略
・ 業務革新 / DX
・ モノづくり革新

アライアンス

事業推進

事業基盤

安全・品質

S・Q ⇒ D・C

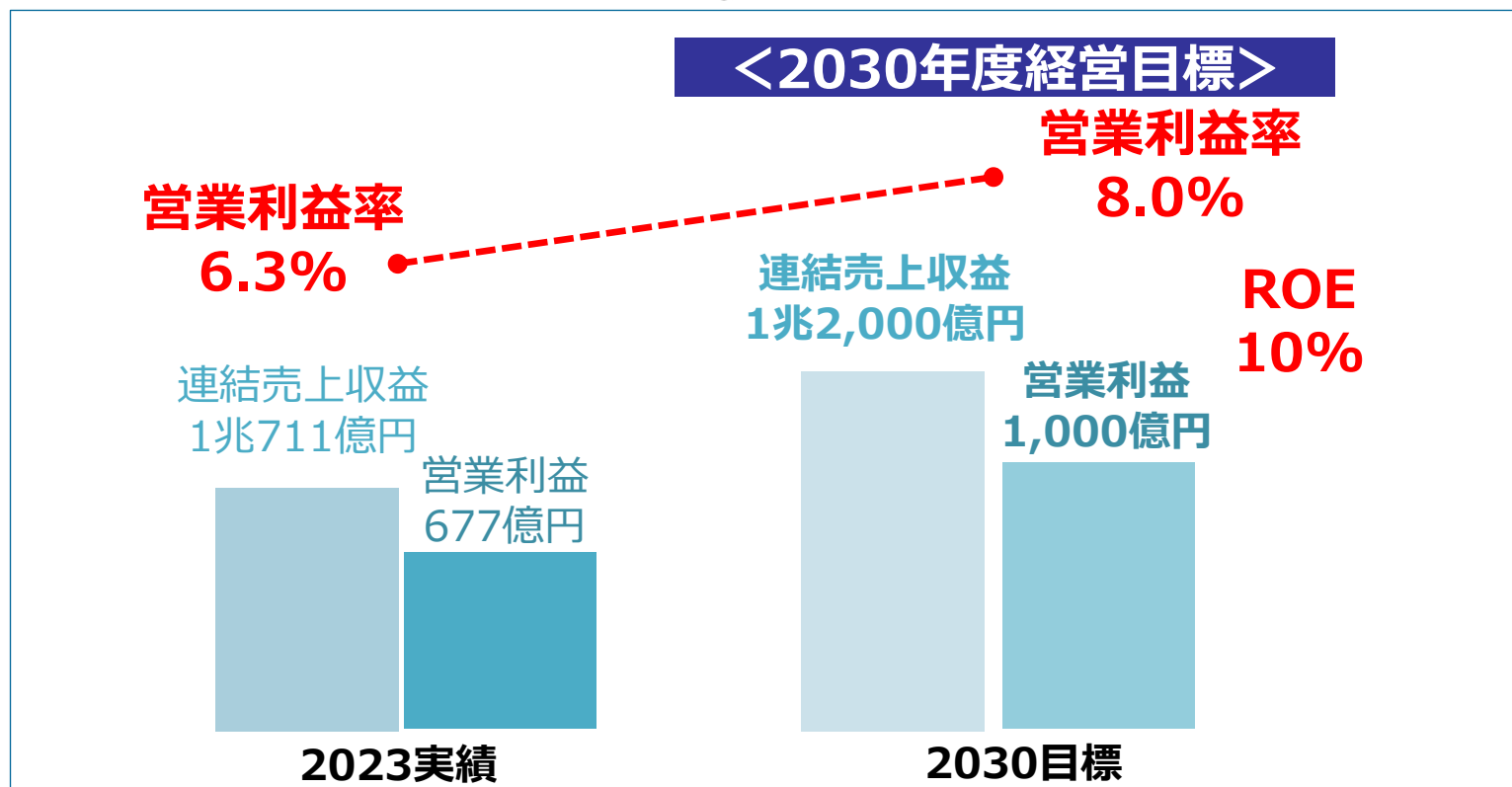
人と組織の活性化

会社・職場風土

2. インベストメントハイライト



- I モビリティの変化に合わせた提案力
- II 世界の交通事故死傷者ゼロに貢献するエアバッグ
- III あらゆるカーメーカーを魅了する製品力

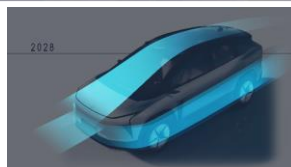
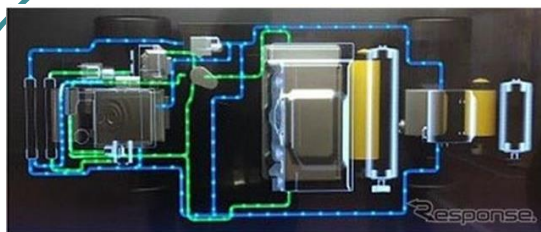


■ 自動車業界は今大きな変革期を迎えている…

- ・大容量バッテリー搭載→**重量アップ**°
- ・航続距離延長のため、**熱マネジメント + 軽量化**が必要

- ・カーメーカーでの組付けから
部品メーカーでの一体納入へ
…カーメーカー側の組付工数減

電費向上



静粛性

- ・エンジン音がなくなる事で
風切り音などの**耳障り音UP** ↑

モジュール化



快適さ



- ・自動運転で**車室内自由度UP**
- ・車内が**エンタメ空間**に
- ・新たな安全性が必要に

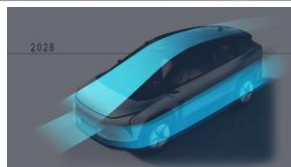
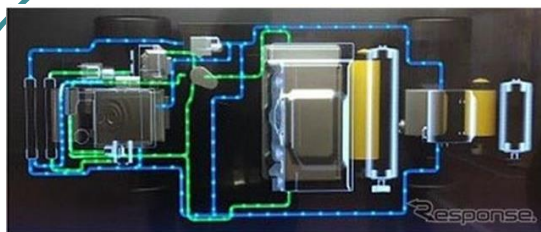
高分子の技術でクルマの構造・つくりを刷新し、モビリティの進化に貢献

■ 自動車業界は今大きな変革期を迎えている…

- ・大容量バッテリー搭載→**重量アップ**
- ・航続距離延長のため、**熱マネジメント + 軽量化**が必要

- ・カーメーカーでの組付けから
部品メーカーでの一体納入へ
…カーメーカー側の組付工数減

電費向上



静粛性

- ・エンジン音がなくなる事で
風切り音などの**耳障り音UP** ↑

モジュール化



快適さ



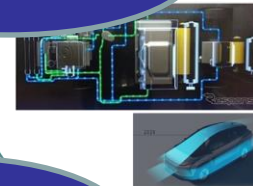
- ・自動運転で**車室内自由度UP**
- ・車内が**エンタメ空間**に
- ・新たな安全性が必要に

高分子の技術でクルマの構造・つくりを刷新し、モビリティの進化に貢献

I モビリティの変化に合わせた提案力

モビリティの変化

電費向上



静粛性

快適さ

冷却配管 バッテリーケース



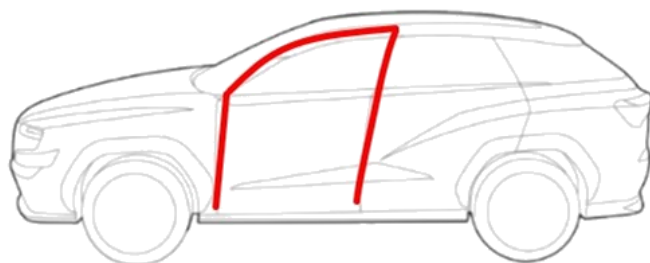
格納ハンドル、
多機能コンソール



ラップエアバッグ



ダブルリップガラスラン



耳障り音 ▲ 3%

エアバッグ
×
シートベルト



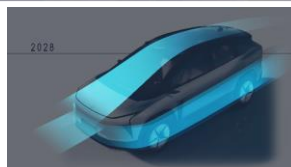
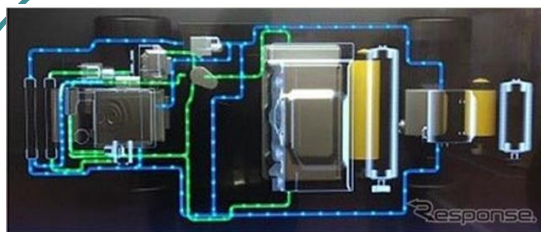
エアバッグとシートベルトのセット開発

■ 自動車業界は今大きな変革期を迎えている…

- ・大容量バッテリー搭載→**重量アップ**
- ・航続距離延長のため、**熱マネジメント + 軽量化**が必要

- ・カーメーカーでの組付けから
部品メーカーでの一体納入へ
…カーメーカー側の組付工数減

電費向上



静粛性

- ・エンジン音がなくなる事で
風切り音などの**耳障り音UP** ↑

モジュール化



快適さ



- ・自動運転で**車室内自由度UP**
- ・車内が**エンタメ空間**に
- ・新たな安全性が必要に

高分子の技術でクルマの構造・つくりを刷新し、モビリティの進化に貢献

I モビリティの変化に合わせた提案力

モジュール化、樹脂化への取り組み



TOYODA GOSEI

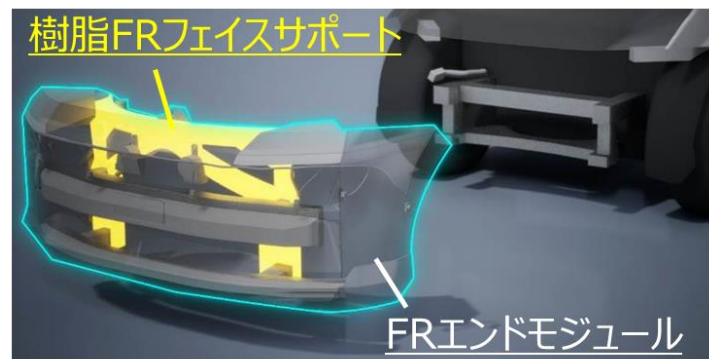
- 電費向上を目指し、骨格部品の樹脂化で軽量に貢献
- つくりの簡素化：骨格部品の樹脂化とモジュール供給で車両組立工数削減

電費向上

- 従来骨格は鉄が主流



【当社予測効果】
FRフェイスサポート
質量 ▲50%



- 「意匠」+「構造」一体のモジュールを提案

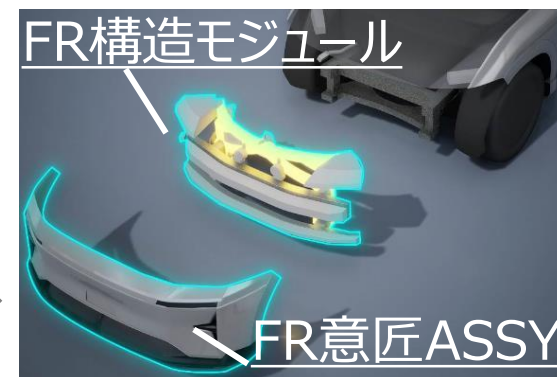
モジュール化

- 車両へは
単品組付けが主流



- 「意匠」「構造」分離のモジュール対応例

【当社予測効果】
車両組立工数
▲280秒
構成部品 25→1点



I モビリティの変化に合わせた提案力

クルマごとに対応した製品・技術の提供

■ どんなクルマになろうとも、当社製品は継続して搭載

全てのモビリティで継続して搭載

従来
↓
今後

セーフティシステム



内外装部品



ウェザーストリップ製品



モビリティの変化に柔軟に対応

従来

機能部品

エンジン車



燃料系部品

エンジン周辺部品

今後

ハイブリッド車

水素自動車

エンジン車

BEV



燃料系部品



冷却配管



高圧水素タンク



エンジン周辺部品



バッテリーケース

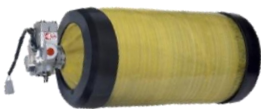
I モビリティの変化に合わせた提案力

電動化による付加価値向上



TOYODA GOSSEI

■ 電動化をチャンスに台当たり搭載金額の拡大を図る

区分	パワー トレイン	エンジン車	HEV PHEV	BEV	FCV
燃料システム		 燃料タンク周辺部品	 樹脂フューエルフィルターパイプ	 バッテリーケース	 高圧水素タンク  FCスタックマニホールド
冷却システム		 冷却配管			
ガソリン車を100とした ときの台当たり 単価イメージ		100	100以上	100以上	1,000以上

冷却ニーズが
高い電動車は
エンジン車比で
ホース長さが
約4倍

■ 地域ごとの安全規制によって異なるエアバッグ 市場ニーズにあった製品の開発・提供で、交通死傷者ゼロに貢献

日本
アメリカ
欧州
中国



新たな
安全規制・厳格化
→新エアバッグ誕生
→先進国でも
エアバッグ増



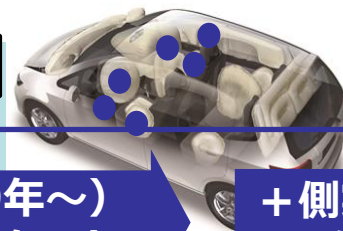
インド

安全強化により、先進国で
基本搭載のエアバッグ装着へ
→ インドでエアバッグ増

6エアバッグ化

運転席（19年～）
助手席（21年～）

+側突系
（24年～）

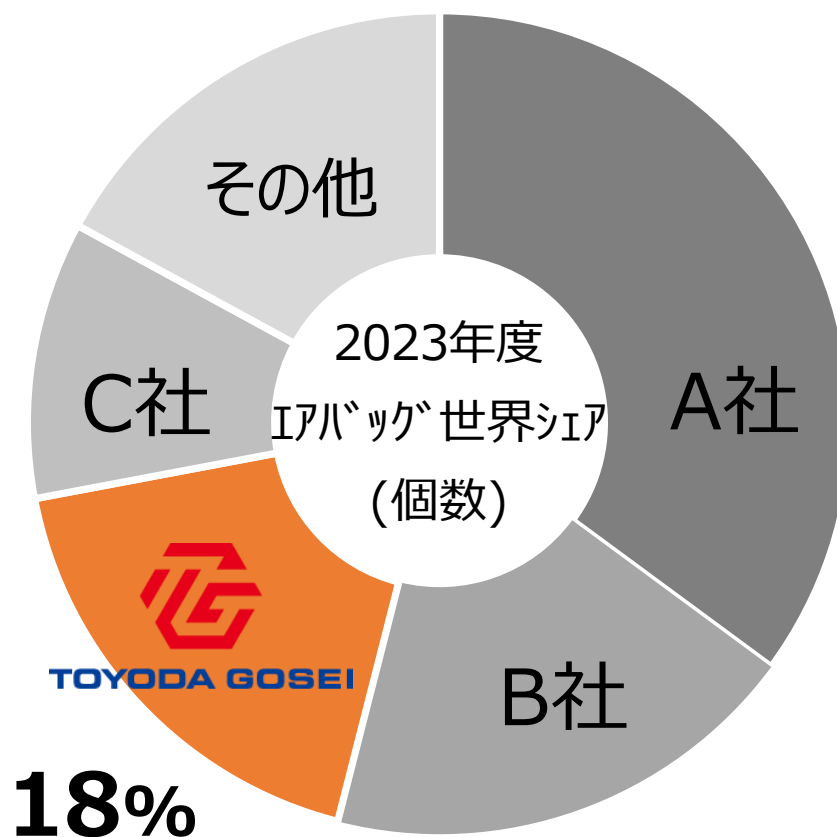


80年代

00年代

現在

- エアバッグの**グローバルシェア18%**の実績
- 寡占化した市場において、**大手4強の1社**



* 自社調べに基づく

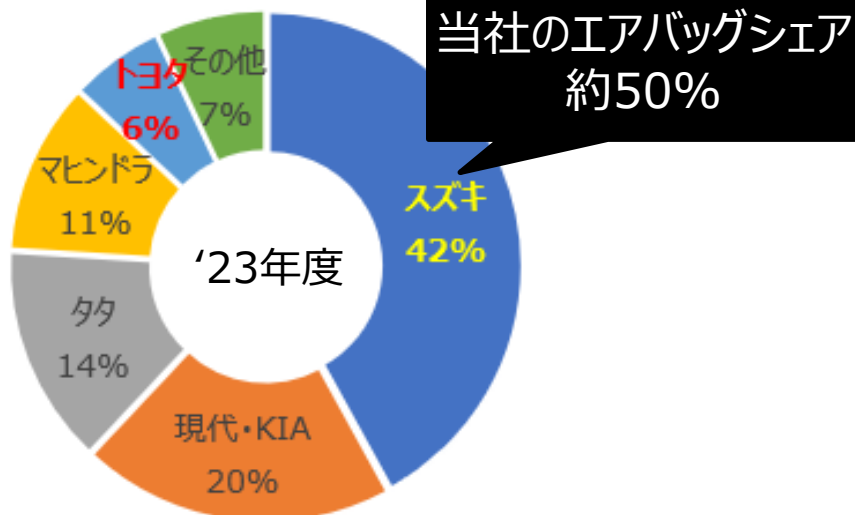
Ⅱ 世界の交通事故死傷者ゼロに貢献するエアバッグ

インドにおけるエアバッグ事業の成長



TOYODA GOSEI

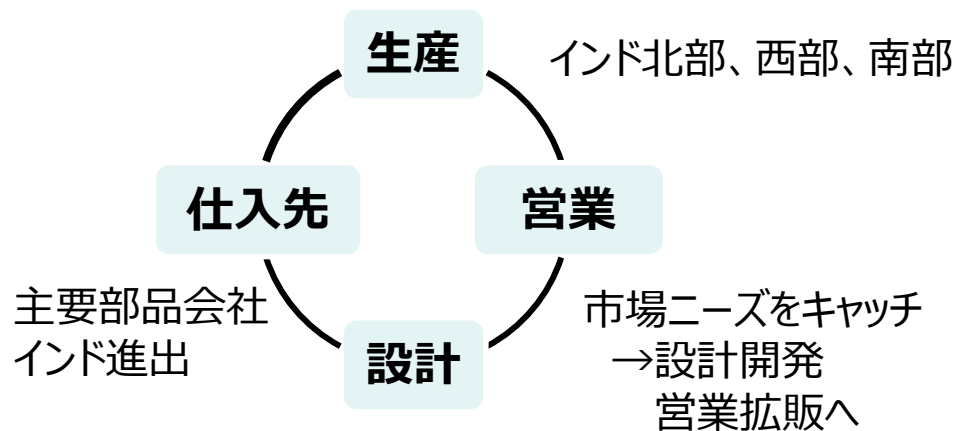
■ インドで最も売れているスズキ車の半数に当社のエアバッグが搭載



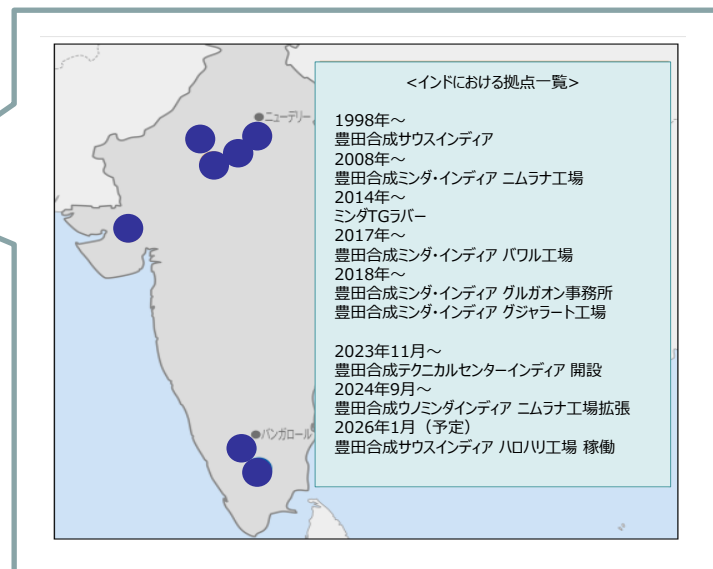
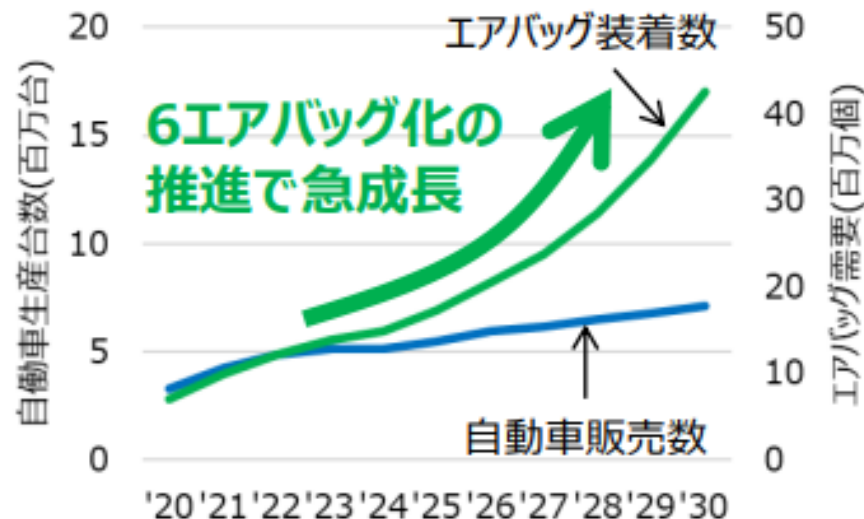
当社のエアバッグシェア
約50%

インド自動車 販売台数のシェア

■ 当社のMake in India で成長実現

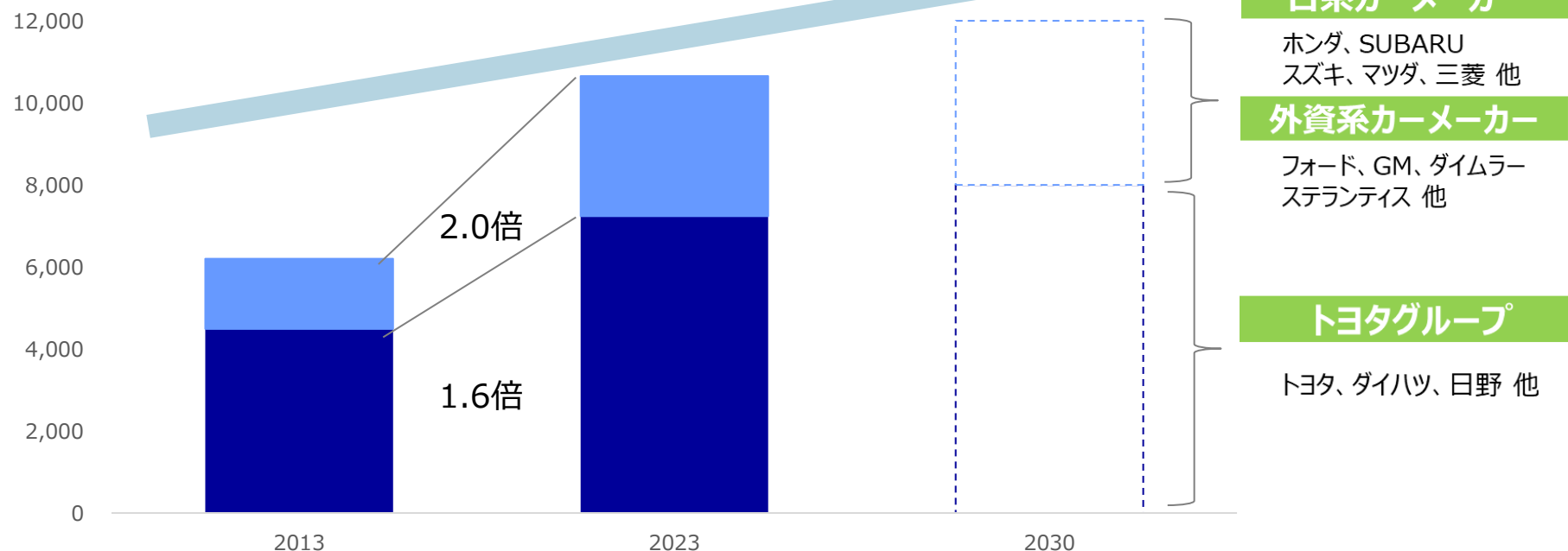


■ 台数増に加え、エアバッグ装着数の増加も見込まれる



■ トヨタのみならず、あらゆるカーメーカーへの販売が加速

(単位：億円) 日系・外資系は直近10年で約2倍の伸び

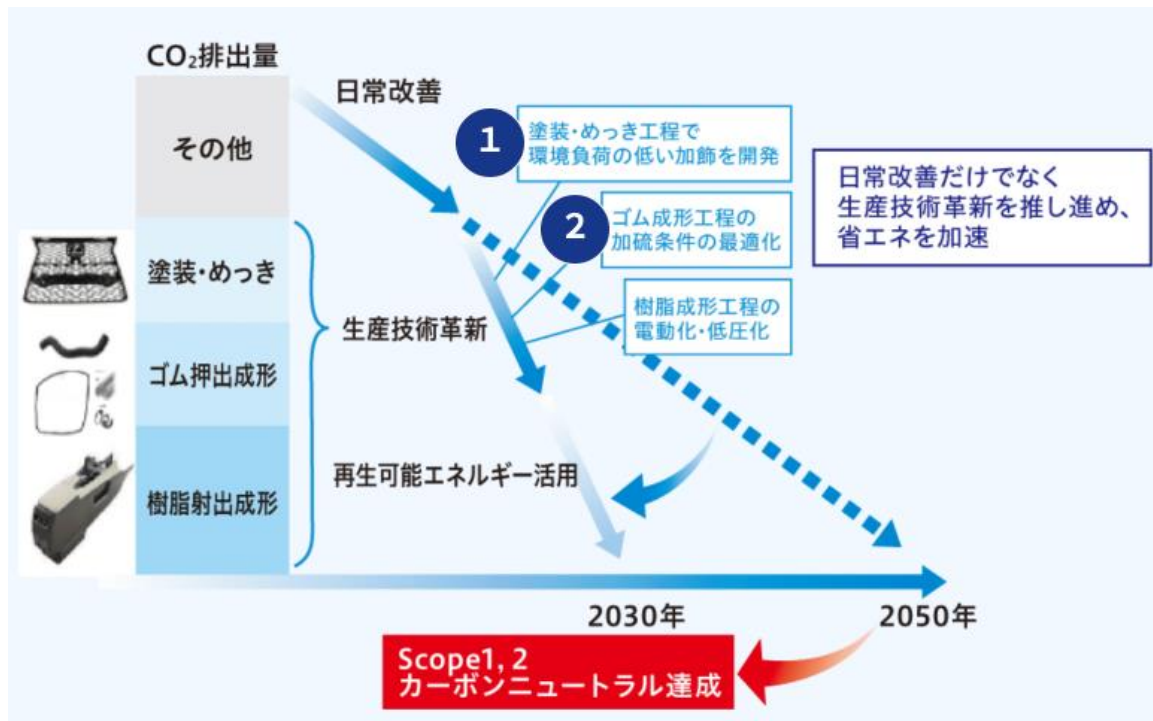


・グローバルでの、「きめ細やか対応」と「魅力ある商品」で、拡販にチャレンジ

- ✓開発体制：グローバル展開で地域ニーズに即した製品開発を実現
- ✓生産体制：16か国/地域・グループ60社によるネットワークで、品質、デリバリー、コスト、アフターサービスを実現
- ✓マーケティング：CSMO(Chief Strategic Marketing Officer)の設置
マーケティング機能と先読みの販売戦略の立案

3. 成長を支える基盤／環境

- 2030年にScope1・2カーボンニュートラル達成に向けて、CO₂フリーの高付加価値製品を提供、生産技術革新を推し進め、省エネを加速



1 ホットスタンプ工法



今回開発した技術による加飾の拡大写真(赤点線内)



2 新規設備導入時 金型のコンパクト化による 成形機のクラスダウン

	2030 年	2050 年
Scope1, 2	カーボンニュートラル	カーボンニュートラル
Scope3	2019 年比 27.5%削減	カーボンニュートラル

3. 成長を支える基盤／新事業



TOYODA GOSEI

- 自動車部品に限らず重点5分野×TGコア技術×CVC*で製品を幅広く展開し、より多くの人々に社会的価値を提供

アイデア創出と事業化見極めを高速で繰り返す

重点5分野＝ヘルスケア・スマートホーム・モビリティ・エネルギー・CN

TGコア技術

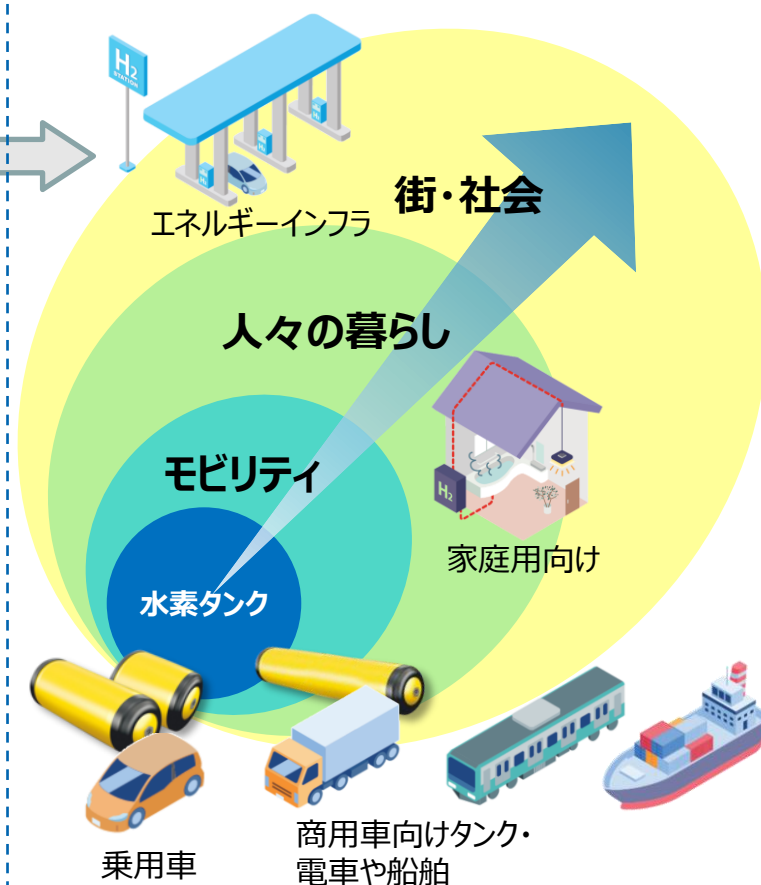
GaN
パワー半導体



水素タンク



【水素タンク事業の拡がり】



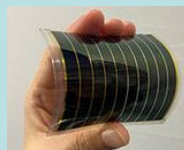
*コーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）の活用

- ・CVC活用により新価値創造の体制を強化
- ・技術補完により新規事業を早期具現化
- ・全出資件数25件 総額24億円の出資実績 (2019年～現在)

マイクロ波給電



ペロブスカイト型
太陽電池



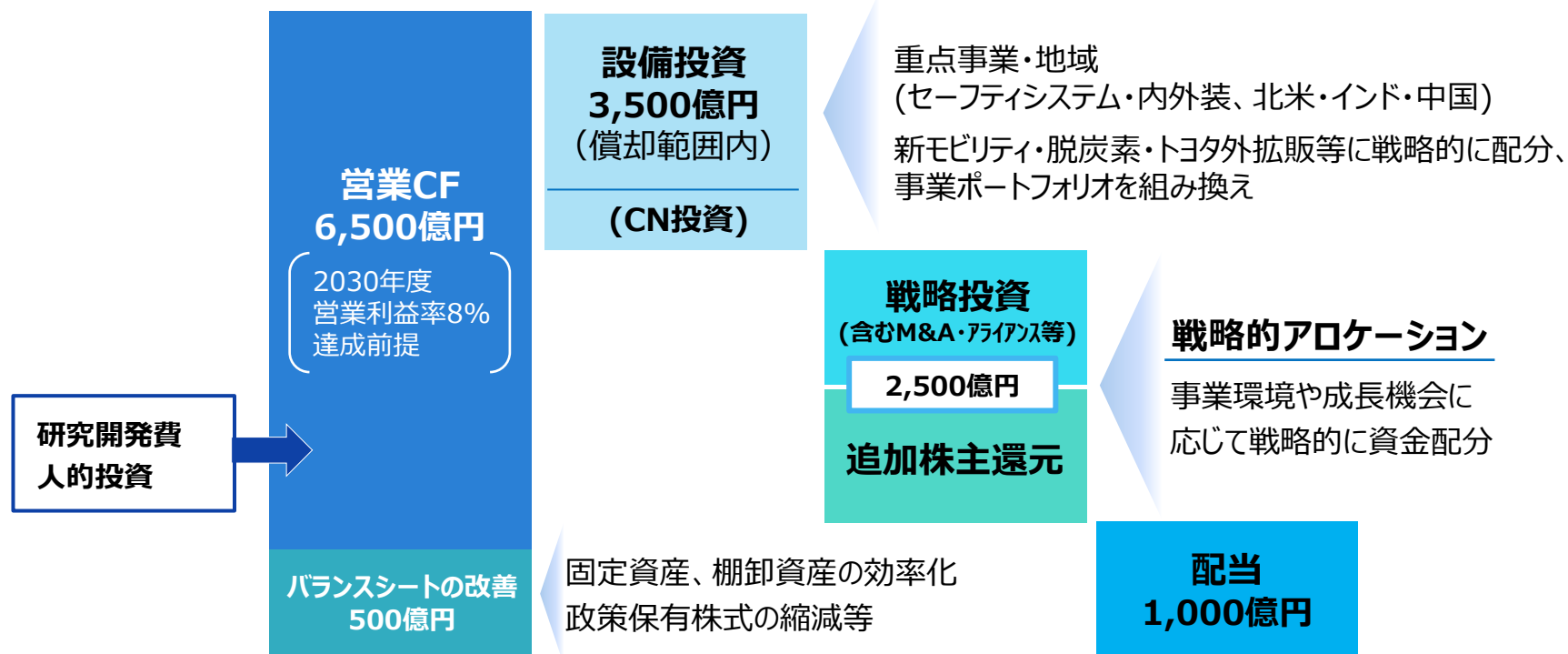
4. 株主還元／キャッシュアロケーション

- 売上は市場成長以上。利益成長を重視し、**株主資本コストを上回るROEを目指す**
- 創出するキャッシュを、設備投資や株主還元の原資を確保した上で戦略的にアロケーション

■ 経営目標

売上収益	営業利益	営業利益率	ROE
1兆2,000億円	1,000億円	8%	10%

■ キャッシュ・アロケーション (2023年度から2030年度までの累計)



4. 株主還元／配当政策



TOYODA GOSEI

〈株主還元方針〉

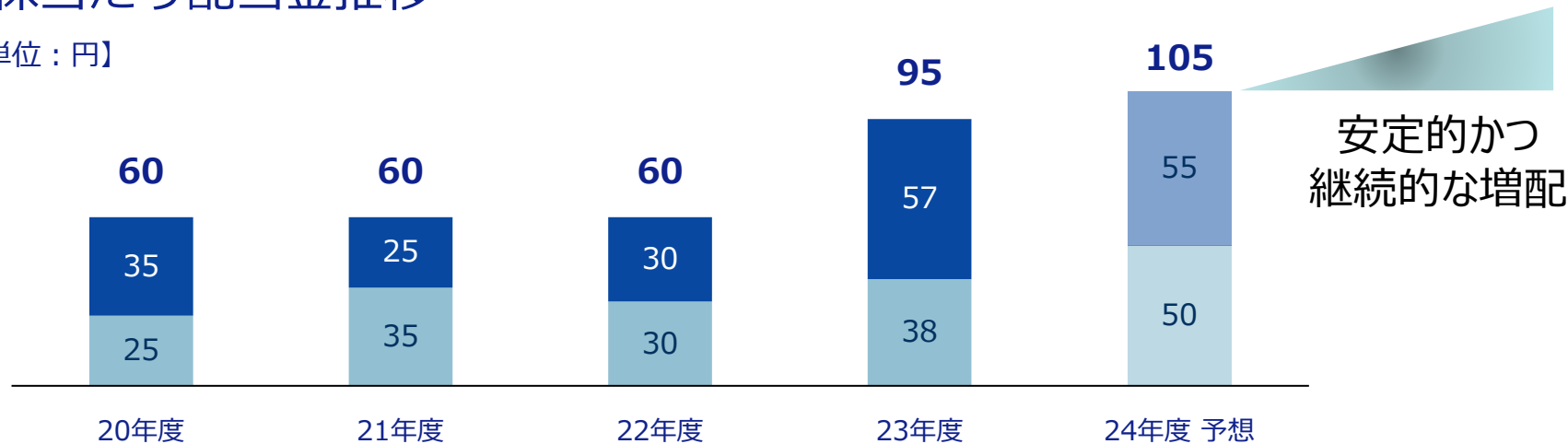
- ・安定的かつ継続的な増配（DOE 2.5%を下限目標に設定）
- ・機動的な自己株式の取得
- ・株主資本コストを上回るTSRを長期安定的に実現

前期 : 年間配当95円（前期比+35円、前回予想比+19円）

今期予想 : 年間配当105円（当期比+10円）

1株当たり配当金推移

【単位：円】



安定的かつ
継続的な増配

DOE

2.1%

1.9%

1.8%

2.5%

2.5%

(参考)配当性向

22.1%

33.3%

48.6%

※ 23.6%

36.0%

5. スポーツへの取り組み



TOYODA GOSEI



<ハンドボール>

1975年度：創部

2018年度：国内最高峰のトーナメントである日本選手権で初優勝

2020年度：日本リーグ初優勝

2023年度：日本選手権優勝（5回目）及び日本リーグで4年連続優勝



1961年度：創部

2021年度：天皇杯 優勝(2回目)、Vリーグ 2位

2022年度：Vリーグ優勝（2回目）

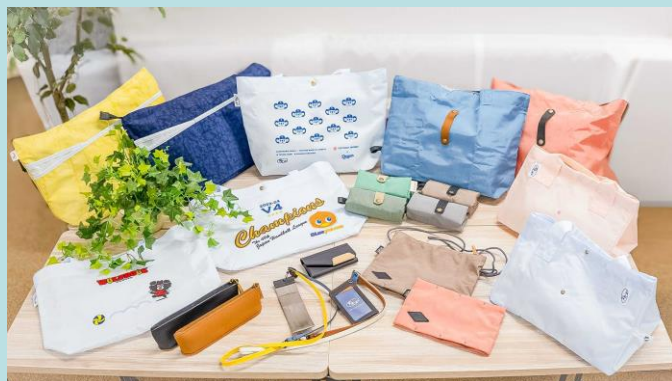
<バレーボール>



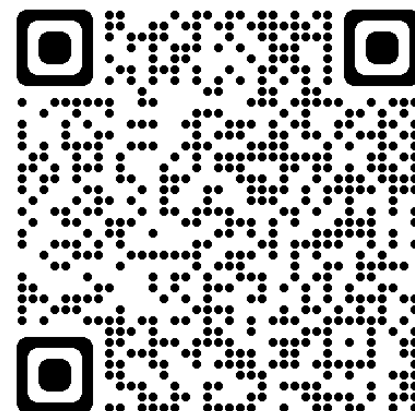
エシカルブランド「Re-S」

廃棄物低減の一環として、エアバッグやハンドルなどの自動車部品の生産工程で出る端材を利用した商品を「Re-S」ブランドとして展開しています。

Re-Sは「Re-born」や「Re-cycle」といった「Re」から始まる環境に優しい活動を進める、サステナビリティ（S）を高めるという意味も込めています。



オンラインショップはこちら



6. まとめ／豊田合成の特徴

安定した事業基盤



- ・トヨタグループの1社
- ・自動車部品のグローバルサプライヤー
- ・創業以来黒字経営で安定的な事業運営

モビリティの変化にあわせた提案で収益力を強化



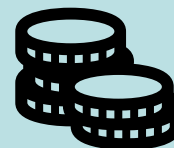
- ・軽量化、熱マネジメント、静粛性・快適性向上
- モジュール化 をキーワードにモビリティ変化に柔軟に対応

成長性



- ・トヨタグループのみならず他メーカーとの取引拡大中
- ・エアバッグを主体に、市場成長以上の成長を目指す

株主還元



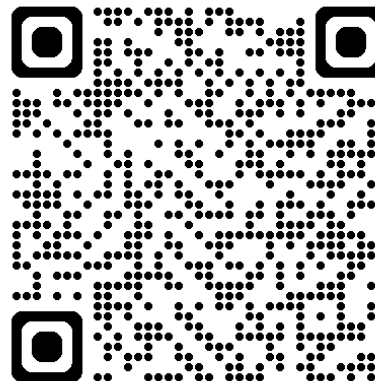
- ・配当利回り約4%
(24年9末時点)
- ・安定的かつ継続的な増配
(DOE 2.5%を下限目標に設定)

当社株式の単元株数は100株のため、最低購入代金は株価の現在値の100倍となります。
この他、証券会社にお支払頂く売買手数料が必要となります。

■ 株主・投資家向けWEBサイトのご紹介



<https://www.toyoda-gosei.co.jp/ir/>



■ IRメール配信サービスの登録はこちら↓

https://www.toyoda-gosei.co.jp/ir/ir_mail/



TOYODA GOSEI

A stylized globe with blue and purple orbital lines.

ONE TEAM, ONE TG.

◆将来予測について

当資料には、将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しは、仮定または仮定に基づく根拠等が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、或いはそれに近い結果が実際に達成される保証はありません。また法令上、別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

◆会計基準について

当社は2018年度第1四半期より国際会計基準（IFRS）を適用しています。